

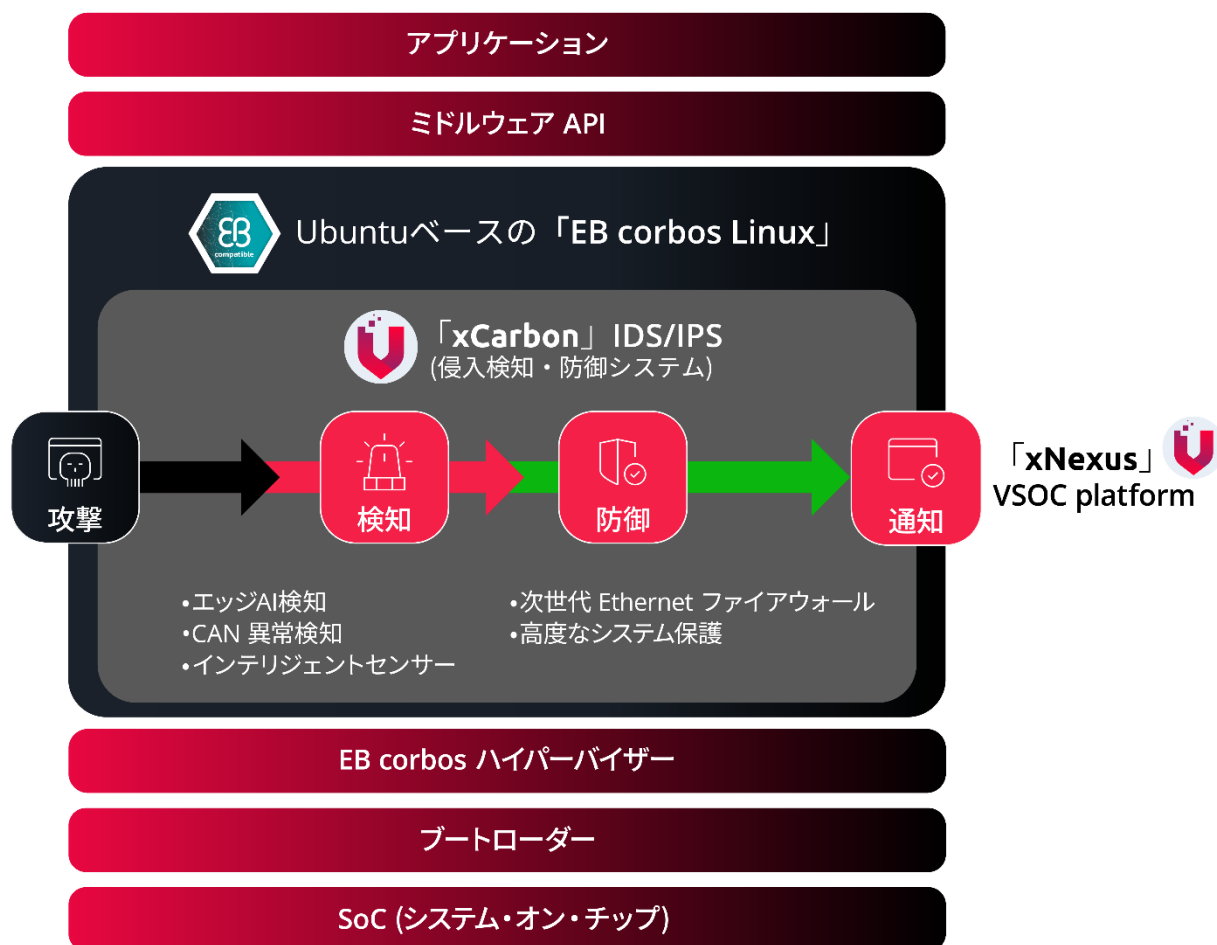
2025 年 11 月 4 日
VicOne 株式会社

VicOne×エレクトロビット、 製品互換により SDV 時代のサイバーセキュリティを強化 ～VicOne の車載侵入検知・防御システム「xCarbon」がエレクトロビットの車載 OS「EB corbos Linux」に適合、SDV 開発におけるセキュリティリスク低減と市場投入期間短縮を実現～

トレンドマイクロ株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長（CEO）エバ・チェン）の子会社で、自動車向けサイバーセキュリティ分野のリーディングカンパニーである VicOne 株式会社（ヴィックワン、東京都新宿区、最高経営責任者（CEO）マックス・チェン）は、車載組込・コネクテッドソフトウェアのグローバルベンダーであるエレクトロビット（Elektrobit）の製品互換性プログラムへ参加し、当社の車載侵入検知・防御システム（IDS/IPS）「xCarbon」が、エレクトロビットの自動車向けオペレーティングシステム（OS）「EB corbos Linux」との互換性認証を取得したことを発表しました。これにより、自動車メーカー（OEM）やサプライヤーの SDV（ソフトウェア・デファインド・ビークル）開発におけるセキュリティ対応を効率化し、開発期間の短縮とリスク低減を実現します。



自動車メーカーおよびサプライヤーは、SDV 時代の複雑化する E/E（電子/電気）アーキテクチャへの対応と、開発サイクルの迅速化という課題に直面しています。今回の適合性認証により、VicOne は「事前検証済みで、即時導入可能な」サイバーセキュリティソリューションの提供が可能となりました。これにより、自動車メーカーやサプライヤーの検証作業の負担を軽減し、テスト工程を簡素化することで市場投入までの期間短縮やコンプライアンスの迅速な達成を支え、将来を見据えた SDV 戦略の推進を強力にサポートします。



図：VicOne「xCarbon」とエレクトロビット「EB corbos Linux」の統合アーキテクチャと脅威検知・防御の流れ

■製品の特長

VicOneの車載侵入検知・防御システム「xCarbon」

「xCarbon」は、車両の急速な技術革新に適応するため、スムーズかつ精密な性能を追求して設計された、車載侵入検知・防御システムです。

次世代のイーサネットファイアウォールとして開発され、現在では仮想マシンやコンテナ環境を通じた仮想化にも対応しています。また、エッジAIを活用することで、車両内にVSOC（車両セキュリティオペレーションセンター）機能を実装でき、単一のECU（電子制御ユニット）から車両全体にわたるまで脅威検知範囲を強化します。加えて、クラウドへは重要なセキュリティイベントのみを送信する仕組みにより、データ転送量とクラウド処理コストを最大60%削減することが可能です。

エレクトロビットの車載OS「EB corbos Linux」

「EB corbos Linux」は、安全性に整合した設計を持ち、最高水準の品質とコンプライアンス基準を満たすように開発された、オープンソースベースの車載オペレーティングシステムです。

統合されるすべてのアプリケーションは厳格な検証プロセスを経ており、自動車メーカーやサプライヤーは互換性のある製品をより効率的に採用することができます。

■VicOne 最高経営責任者 (CEO) マックス・チェンのコメント

自動車メーカーにとって、市場投入までのスピードは非常に重要です。「EB corbos Linux」のような事前統合されたプラットフォームは、ますます複雑化する車両環境における検証サイクルの短縮の一助となるでしょう。今回の互換性認証により「xCarbon」は、独自の自動車向け脅威インテリジェンスに基づくルールにより誤検知を減らし、検証の負担を軽減することで、自動車メーカーの市場投入期間短縮という目標を支援します。

エレクトロビット (Elektrobit) について

エレクトロビットは、先進の自動車業界向け組み込み／コネクテッドソフトウェア製品・サービスをグローバルに提供する車載 ソフトウェアのリーディングカンパニーです。エレクトロビットは、過去 35 年以上、自動車業界向けインフラストラクチャソフトウェアやコネクティビティ、セキュリティ、自動運転、関連ツール、ユーザーエクスペリエンスの分野で柔軟かつ革新的なソリューションを提供してきました。弊社のソフトウェアは、既に 6 億台以上の車両に 50 億以上のデバイスで採用されています。エレクトロビットは、AUMOVIO の完全子会社であり独立事業会社です。詳細は elektrobit.com/jp をご覧ください。

VicOne について

VicOne は、これからの自動車を守るというビジョンを持ち、自動車産業向けに幅広いサイバーセキュリティソフトウェアやサービスを提供しています。自動車メーカーの厳しい要求に応えるために開発された VicOne の各ソリューションは、現代の車両が必要とする高度なサイバーセキュリティの各種要件に適合し、大規模な運用にも応えるように設計されています。VicOne は、トレンドマイクロの子会社であり、トレンドマイクロが 30 年以上にわたって培ってきたサイバーセキュリティ技術をベースにしています。自動車サイバーセキュリティのグローバルリーダーとして、サイバーセキュリティにおける独自の深い知見を活かした先見性を提供し、お客様が安全でスマートな車両を開発できるよう支援しています。

〈会社概要〉

日本法人名	VicOne 株式会社 (英語名: VicOne Corporation)
グローバル代表 CEO	マックス・チェン
日本法人役員	会長 マヘンドラ・ネギ、 マックス・チェン等
設立日 (台湾)	2022 年 6 月
設立日 (日本)	2023 年 6 月 (登記月)
従業員数 (グローバル)	約 120 名
本社所在地	東京都新宿区新宿 4-1-6 JR 新宿ミライナタワー
事業内容	自動車向けサイバーセキュリティソリューションの開発
U R L	https://www.vicone.com/jp